



2024年は
どんな1年でしたかー?



介護老人福祉施設

楳山けやき苑

元気に1年過ごせました!



2024年は10月になつても気温が高く、秋の訪れを心待ちにするような年でした。遅れた紅葉を求め、外出レクへLet's Go!



2025年、楽しい年にしようぜ!!

～お知らせ～

誌面にも載っている、けやき苑のアイドル「茶々丸」が令和7年1月7日、虹の橋を渡りました。大変かわいがっていただき、ありがとうございました。



新年のご挨拶

法人総務局長 横山けやき苑苑長

小林 啓一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は横山けやき苑の事業運営について皆様から温かいご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年（2025年）は団塊の世代が皆後期高齢者となります。

介護事情が大きく変わっていくことが予想される中、私たち高齢者事業所も変化に対応すべくサービス内容を進化させ、ニーズに応える発想と取り組みがより必要になるとあらためて感じます。

昨年当苑においては年末にかけコロナウイルス感染症やインフルエンザの影響を受け対応に苦慮する場面もありましたが何とか乗り切り、経験を重ねるごとに職員一人ひとりがたくましく、また、対処するノウハウが蓄積され実践力が増していることを心強く思います。

苑内の活動は徐々に活発化しており、ボランティアや近隣の学校との繋がりを持つ機会も増えました。九月の敬老会では五年ぶりに各部署が皆集まり、苑全体で準備を行い多くのご家族、こどもけやき苑の保護者にも来苑いただきました。ご利用者、苑児、ご家族、ボランティア、職員皆で楽しい時間を共有することができました。今年はさらにご利用者の活気ある暮らし、喜びを感じられる生活を目指し、企画、実行をしてまいりたいと思います。

施設環境は変わらず厳しさが続きますがICTの活用をさらに推進し、職員にとって働きやすい職場環境を整え、ケアの質の向上、事務環境についてはより効率的なシステム、方法を追求していきたいと思います。

法人全体で取り組んでいる介護職員キャリアパス基礎研修は二年目、最後の年になります。今後の研修、そして仕事の土台となる内容であり、この機会を大切にし、次のステップアップに繋げてほしいと考えます。外国人を多数採用している法人として、日本の文化を大切にした介護に磨きをかけてほしいと思います。

アメリカでは大統領が変わり、世界の潮流が大きく変革する年であり、日本においても多大な変化が予測される中、法人・施設が受ける良き影響をしっかりと受け止め社会福祉法人としての役割を果たしていくかと思います。ご利用者が穏やかで、健やかに過ごせるよう職員一同努力してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

